

## 中欧班列 累計 10,000 便達成

本年2018年6月8日付の物流関連速報にて、中国と欧州を結ぶ国際定期貨物列車「中欧班列」の現状をお伝えしましたが、今号ではその後の活用状況や課題についてお伝えします。

### 1. 勢いを増す中欧班列

2018年6月8日付の物流関連速報でもお伝えした通り、中国と欧州を結ぶ貨物鉄道「中欧班列」は、現在中国の約50都市と欧州の10か国以上の約40都市が結ばれています。また、運行本数は年々増加傾向にあり、2018年8月末時点では、2011年に初めて中欧班列が走行して以来、累計10,000便に達しています。また、2018年は年間5000便を突破する見込みであり、特に下期に勢いが増えています。



ロイター/アフロ

中欧班列の運営は中国鉄路総公司が行い、ルートは以下の通り“西”、“中央”、“東”の3つがあります。

- ・西ルート: 阿拉山口、カザフスタン、ロシア、ベラルーシ、ポーランドを抜けていく路線
- ・中央ルート: 二連浩特を經由しモンゴル、ロシアに抜けていく路線
- ・東ルート: 満州里、ザバイカリスクを通過しロシア、ヨーロッパに抜けていく路線



「The Silk Road Express」高速鉄道網 ユーロアジアビジネスブリーフィングクラブ会報11月号掲載

阿拉山口、二連浩特、満州里の3か所は中国国境の都市であり、貨物の積み替えが行われます。運行割合は、西ルートが概ね6割、2割強が東ルート、2割弱が中央ルートとなっています。1日平均1,300kmの走行が可能となっており、走行期間は16日前後が多く、最短では12日も可能となっています。また、定時到着率は90%以上とされています。

## 2. 中欧班列における課題

課題としては、中欧班列によるコンテナ輸送費が海上輸送よりも約 2.5 倍高額となっていることが挙げられます。なお、現在は列車を運行する各地方政府が事業拡大のために補助金を拠出していますが、この補助金が近い将来に打ち切られる可能性がある事を考えると、今後、さらに運賃の値上がりが見込まれます。

また、中欧班列は、鉄道軌道幅の違いで積替えが最大 2 回発生するため渋滞が発生する場合があります。例えば、ベラルーシ/ポーランド国境ではそれぞれの規格幅のレールシャーシにコンテナを積み替える必要がありますし、中国側の国境通過

地点は 4 か所であるのに対し、欧州側に入るのはベラルーシ・ブレスト/ポーランド・マワシエビチェの国境 1 か所のみです。なお、マワシエビチェの積み替えターミナルのコンテナ取扱量は 3 年間で 5 倍に急増しており、渋滞が発生する場合があります。一方で、欧州発中国向けの貨物量が少なく、運行スケジュールが不安定であるという課題も存在します。



ポーランド・マワシエビチェ駅(弊社社員撮影)

## 3. 一帯一路に関する物流調査セミナーのお知らせ

このたび東京海上日動では、中国並びにポーランド・ドイツの各主要駅を訪問し、その実態や課題について情報を収集してまいりましたので、セミナーにて皆様にご報告致します。また、法制度について、専門の弁護士から基調講演をいただきます。(在京以外のお客様へもご案内させていただく点、ご容赦のほどお願い申し上げます)

- ・日時:1月31日(木) 14:00-17:00(13:30 受付開始)
- ・場所:新館 15 階中会議室
- ・定員:200 名(無料)
- ・内容:「一帯一路の物流報告とそれを取り巻く法制度」
  1. 基調講演 一帯一路と法制度について
  2. 中国側調査報告
  3. 欧州側調査報告
- ・講師: 1. 弁護士法人 岡部・山口法律事務所 山口 修司 弁護士  
2. コマーシャル損害部 国際物流第二G 原賀 勇樹  
3. コマーシャル損害部 国際物流第二G 渡辺 丈太
- ・申込:担当の営業窓口までお問合せ下さい



(出典)

・日刊 CARGO 2018 年 12 月 7 日 中欧班列、今年 5000 便突破へ 重慶、成都が 1000 便達成 西安 680 便、下期勢い増す

(<http://www.daily-cargo.com/new/news/128605/>)

・一帯一路経済フォーラム(2018 年 9 月 14 日開催)

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)